

中国の開会スピーチ骨子

何故、中国はM I 理論なのか

中国では高いI Qを持つことが有望な人材を育て上げる鍵であると信じて教育に取り組んできた。そのため個性を重んじるというよりは 同じ教材を用いて画一的な教育を施してきたが結果は芳しくなかった。つまり高いI Qを持っていたとしても社会で成功するとは限らないことが実証された。M I 理論によれば 私達に備わっている知能は一つとは限らず、各個人がそれぞれ異なった8つの領域で優れた知能を持っていることが分った。その知能に応じた教育をすることが重要であることも中国はM I 理論から学んだ。この20年、M I 理論に基づいた教育が各個人の可能性を伸長させ、成果をあげていることを学校の業績をみて 中国はMI 理論の研究に努めている。北京がすすめているM I 理論を応用した教育が中国の教育改革を率先して行くべきであると提唱した。

Gardner によるキーノート・スピーチ

Gardner のスピーチは以下の5つの方面に及んだ。

1. 知能が一つであることの危険性

ビネーによる知能の概念は遺伝的要素が高く いくら教育を受けても知能を向上させることは難しいことになる。心理学以外の学問で脳の研究(ニューロン等)が行なわれ、脳は他の臓器に比べてその働きに個人差があることも分っている。ならば一律化した教育を施すことに価値があるのか？

2. 8つの知能

8つの知能の中から数学・論理的知能、言語知能を除いた6つを説明。それぞれの知能をコンピューターにたとえ、それぞれのコンピューターを使って情報をおののおの方法で処理している。つまり教育を画一的に行なうことは思慮の足りない方法であり、個性を重んじた教育を行なう必要がある。

3. 教育の5つの目標

Disciplinary Understanding

教科を学ぶことにより その教科的な思考方法を持てるか。

例) 数学をまなぶことにより論理的思考ができるようになるか

Civil Society

劣悪な環境の人達に手を差し伸べられるか。

Global Economy

Critical Thinking

Good Work 良いことをしたときにその行為をほめる。

但し以上の目標を掲げてもそれを全てするべきと考える必要はない。人間には以下の種類

のタイプがある。

Laser Light モーツワルト、アインスタインのような科学者で長期にわたり集中できる人。

Search light ビル・クリントンのような政治家は広い視野で多くのものを観察し成し遂げることができる。

4. 知能向上の方法

評価

評価には 2 つの方法がある。

Pure Assessment Ideal written tests show how smart they are. しかしながら 知能は評価するには複雑すぎる。

Contextual Assessment Observe people in rich environment for many years.

知能向上の方法

・ Rich Class Environment 必須

Rich Class Environment が強い知能を引き出す。

Riggio Emila(イタリ - の学校)

- ・ 学校内が美しく装飾されている。
- ・ 芸術的な環境
- ・ ハンズ オン アクティビティ -
- ・ 授業が教師主体で行なわれるのではなく生徒主体。(教室内で教師の存在がわからないほど)。
- ・ 学ぶ姿が教室外でも見受けられるような教授法がある。
- ・ 教師が教授法を政府の政策で打ち出されたものに従うのではなく 自らが考えている。

5 . まとめ

社会は変化してきたーーーーコンピューター、グローバル化、脳の機能や遺伝子の解明が行なわれて進歩を遂げているのに 教育は依然として 100 年前の形態である。MI 理論が全面的に正しいとまだ評価を下せないがおおよその正しいのではないかと信じている。5 つの教育目標を向かって教育者達が努力できたと思っている。

Gardner の現在の関心は Intellect より Character にあり それが今 話題の Good Work Project につながっている。教育においても ethics, morality を配慮する様を示唆してスピーチは終了した。